

第65回 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

◆自立更生者表彰 (14名)

桑折町	亀岡貞治	平田村	矢吹榮雄
伊達市	三浦清	棚倉町	大谷カツ子
伊達市	清野敏行	南会津町	塩生綾子
二本松市	折笠友一	西会津町	新田義友
二本松市	佐藤良昭	喜多方市	物江康平
本宮市	玉應ナヲイ	南相馬市	渡部光明
浅川町	鈴木勝人	飯舘村	横山初彦

◆更生援護功労者表彰 (17名)

桑折町	齋藤政澄	磐梯町	五十嵐澄子
伊達市	幕田弘	南会津町	星惣吉
伊達市	遠藤稔	西会津町	高橋進
二本松市	高橋秀治	喜多方市	大野イツ子
二本松市	鳴原昌三郎	北塩原村	鈴木敏美
本宮市	高橋キシ	南相馬市	西キヨ子
玉川村	大野式吉	新地町	目黒茂和
石川町	佐久間高志	相馬市	阿部幸江
棚倉町	村越美幸		

◆加盟団体運営協力者感謝 (17名)

桑折町	岡崎富男	古殿町	岡部笑美子
伊達市	大河内強	平田村	木本セキ子
伊達市	佐藤陽三	矢祭町	鈴木正良
二本松市	菅野久	南会津町	星喜美雄
二本松市	三村陽一	西会津町	橋谷田駿栄
二本松市	本多俊昭	北塩原村	佐藤幸次郎
本宮市	蛭田藤夫	南相馬市	石田幸紀
田村市	白石一夫	飯舘村	松下二郎
田村市	柴田建太		

大会スローガン

- ◎ ユニバーサルデザイン2020行動計画の完全実施を求めよう
- ◎ 障害者差別解消法の理解を深め啓発を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

大 会 宣 言

菊薫る歴史と文化が調和したまち、ほんとの空があるとうたわれたここ二本松市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第65回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

今年2月に閣議決定された「ユニバーサルデザイン2020行動計画」は障がい者への考え方を変える「心のバリアフリー」と障がい者や高齢者に配慮した「ユニバーサルデザイン」の街づくりを2つの柱として、誰もが安全に安心して暮らせる共生社会の構築を目指すものであり、いままで活動してきたわれわれの声が具現化されたものと理解する。

また、昨年4月に障害者差別解消法が施行され、今後、県民の理解のもと、差別解消に向けた具体的な取り組みが実施され、加えて私たち障がい者を含めた県民一人ひとりの自発的な取り組みがなされるとともに、福島県の実情に即した「障がい者差別禁止条例」が制定されることを求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を過ごしている県内外の障がい者が、一日も早く、生きがいのある生活を取り戻せるよう引き続き支援活動を展開していく。

このような状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

平成29年10月25日

第65回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災会員の支援に万全を期するため、第65回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 心のバリアフリーの推進を図ることを要望する。
- 2 障がい者差別をなくすための条例の制定を要望する。
- 3 地域の相談支援体制に身体障がい者相談員を活用させることを要望する。
- 4 被災加盟団体の再建と被災会員の支援に関する制度の創設を要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

平成29年10月25日

第65回福島県身体障がい者福祉大会